

令和 7 年 度

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

事業 報 告 書

I. 事業の状況	1
II. 処務の概要	7
III. 計算書類	10
貸借対照表	10
貸借対照表内訳表	11
正味財産増減計算書	12
正味財産増減計算書内訳表	13
財務諸表に対する注記	14
附属明細書	16
財産目録	17
監査報告書（写）	18

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

I. 事業の状況

1. 助成事業

1-1. 環境研究助成事業

令和7年度 環境研究助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

自然環境の改善に寄与する研究に対する研究資金の助成

① 特定研究

- ・総事業費 1200 万円程度
- ・助成件数 8 件程度
- ・助成金額 1 件あたり 150 万円以内
- ・募集テーマ
 - A. 脱炭素社会に関する研究
 - B. 生物多様性に関する研究
 - C. 防災・減災に関する研究

② 一般研究

- ・総事業費 400 万円程度
- ・助成件数 5 件程度
- ・助成金額 1 件あたり 80 万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和7年3月5日～4月23日
- ・選考委員会 令和7年5月13日
- ・理事会にて承認（書面） 令和7年5月16日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

① 特定研究

- ・応募総数 30 件
- ・助成実施件数 9 件
- ・助成金額 11,995,200 円

② 一般研究

- ・応募総数 17 件
- ・助成実施件数 5 件
- ・助成金額 3,890,000 円

環境研究助成事業合計

助成実施件数 14 件

助成金額 15,885,200 円

(4)助成対象者

①特定研究

(単位：円)

所属機関	氏 名	研究テーマ	助成金額
岡山理科大学 准教授	大坂 昇	ハロゲンフリーで低環境負荷な難燃性セルロース ナノ繊維を複合化した生分解性高分子材料の開発	1,484,200
岡山大学学術研究院環境 生命自然科学学域 助教	長江麻佑子	哺乳類の遺伝的多様性維持に向けた遺伝性疾患の 治療法の確立	1,390,000
岡山大学学術研究院環境 生命自然科学学域 助教	磯部 和真	化学合成したタングステンドープ二酸化バナジウム ナノ粒子による放射冷却の受動的制御	1,401,000
岡山大学学術研究院環境 生命自然科学学域 博士課程	陳 逸楓	革新的正極材料設計がもたらす次世代高エネルギー・ 高出力アルミニウムイオン電池の創出	1,200,000
岡山大学学術研究院環境 生命自然科学学域 博士課程	谷口倫太郎	スイゲンゼニタナゴとその近縁種である外来タナ ゴ類の分布状況の解明	920,000
岡山大学学術研究院環境 生命自然科学学域 助教	橋口亜由未	岡山市内の河川水中 PFAS および関連物質の挙動 と河川水マトリクスを考慮した迅速な測定法の確 立	1,500,000
岡山大学学術研究院環境 生命自然科学学域 博士課程	西村 朱十	防災・減災に向け建材用途を想定した防炎性を有 する硫酸化セルロースパルプの材料応用	1,400,000
岡山大学学術研究院環境 生命自然科学学域 准教授	福元 豊	亀裂を誘因とする地盤災害発生機構の解明に向け た土専門の引張試験法の開発	1,300,000
岡山大学学術研究院環境 生命自然科学学域 博士課程	長尾 幸紀	アメリカネナシカズラの芽生えが葉及び根を形成 しない分子機構の解明	1,400,000
合計 9件			11,995,200

②一般研究

(単位：円)

所属機関	氏 名	研究テーマ	助成金額
岡山大学学術研究院ヘル スシステム統合科学 学域 准教授	王 璿	環境中 PFAS の迅速・高感度検出を可能にする SERS ナノセンサの開発	800,000
岡山大学資源植物科学 研究所 教授	木羽 隆敏	LBD 型転写因子を介した植物の窒素環境頑健性 制御のメカニズム解明	800,000
岡山大学学術研究院共 通教育・グローバル領 域 グローバル人材育 成院 教授	西田 英隆	気候変動下でオオムギ出穂期不安定性を誘発す る遺伝子に関するトラジェクトリ解析	800,000
岡山大学学術研究院環境 生命自然科学学域 教授	三木 直子	モンゴル国砂漠化地域における灌木種 <i>Haloxylon ammodendron</i> の更新メカニズムの解 明	690,000
岡山大学 総合技術部 サイテック・コーデ イナー	中野 知佑	土壌表面構造解析と二酸化炭素等のガス吸着機 能との関連性評価	800,000
合計 5件			3,890,000
環境研究助成事業合計14件			15,885,200

(注) 所属機関、役職名は申請時現在。

1-2. 国際研究交流助成事業

令和7年度 国際研究交流助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

環境科学に関する海外研究集会への参加、又は海外研究者の招聘にかかる渡航費用等の助成

- ・総事業費 90万円程度
- ・助成件数 3件程度
- ・助成金額 1件あたり30万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和7年3月5日～4月23日
- ・選考委員会 令和7年5月13日
- ・理事会にて承認（書面） 令和7年5月16日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・応募総数 5件
- ・助成実施件数 3件
- ・助成金額 900,000円

(4) 助成対象者

（単位：円）

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学 域 助教	佐藤 英祐	76th Annual Meeting of the International Society of Electrochemistry	マインツ （ドイツ）	2025. 9. 7 ～9. 12	300,000
岡山大学異分野基礎 科学研究所 助教	田中 健太	環太平洋国際化学会議 2025	ホノルル （アメリカ）	2025. 12. 1 5～12. 20	300,000
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学 域 准教授	吉田 圭介	第41回国際水理学会 全世界 会議	シンガポール	2025. 6. 22 ～6. 27	300,000
合計 3件					900,000

1-3. 研究集会助成事業

令和7年度開催の研究集会助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

令和7年10月1日から令和9年3月31日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・総事業費 200万円程度
- ・助成件数 4件程度
- ・助成金額 1件あたり50万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和7年3月5日～4月23日
- ・選考委員会 令和7年5月13日

- ・理事会にて承認（書面） 令和 7 年 5 月 16 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・ 応募総数 3 件
- ・ 助成実施件数 3 件
- ・ 助成金額 1,400,000 円

(4) 助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏 名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学 域 教授	河原 伸幸	第 23 回アジア微粒化会議 および第 35 回微粒化シン ポジウム	岡山	2026. 12. 15 ～ 12. 17	500,000
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学 域 教授	西野 直樹	アニマルバイオサイエンス 国際シンポジウム 2025	岡山	2025. 11. 3	400,000
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学 域 教授	中村 宜督	日本農芸化学会三支部合同 大会	岡山	2025. 9. 18 ～ 9. 19	500,000
合計 3件					1,400,000
研究集会助成事業合計3件					1,400,000

1-3-1. 追加募集（研究集会助成事業）

令和 7 年度 研究集会助成事業の追加募集を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

令和 8 年 2 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・ 総事業費 50 万円程度
- ・ 助成件数 1 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 50 万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 令和 7 年 11 月 1 日～令和 7 年 11 月 28 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・ 応募総数 0 件
- ・ 助成実施件数 0 件

2. その他の事業

2-1. 環境科学啓発事業

小中高生の科学に対する関心離れへの対策や一般人の環境科学の啓発を目的に、岡山県内において広く活動している団体等に対して、ホームページにより公募した。

(1) 募集内容

- ・総事業費 20 万円程度
- ・助成件数 2 件程度
- ・助成金額 1 件あたり 10 万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和 7 年 3 月 5 日～4 月 23 日
- ・理事会にて承認（書面） 令和 7 年 5 月 16 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・応募総数 2 件
- ・助成実施件数 2 件
- ・助成金額 200,000 円

(4) 助成対象者

（単位：円）

氏 名	参加会議名 講演又は発表の表題	助成 金額
岡山市少年少女発明クラブ 上田達伸	3つのステップを踏んだものづくりの学習	100,000
岡山理科大学教育推進機構 基盤教育センター 高原周一	小中学生・保護者を対象とし、里山・里海の再生を主テーマとした自然教室	100,000
合計 2件		200,000

（（注）所属機関、役職名は申請時現在。

2-2. シンポジウム等の開催事業（研究成果発表会開催）

(1) 予算額及び実施額

- ・予算額 600,000 円
- ・実施額 452,125 円

研究成果発表会を、「おかやま教育の日」協賛事業として、以下のとおり開催した。

開催日	発表者	開催場所	参加者数	入場料金
令和7年11月5日	令和7年度環境研究助成事業 の助成対象者15名	リーセントカルチャーホテル	80名	無料

2-3. 出版物の編集・刊行事業（研究レポート集刊行）

令和 6 度助成対象者の研究助成報告書等に基づき、令和 7 年 10 月に「研究レポート集 2025（第 26 号）」を刊行、180 部作成し、岡山県内の研究機関、図書館等へ無料で配布した。

(1) 予算額及び実施額

- ・ 予算額 650,000 円
- ・ 実施額 597,300 円



「研究レポート集 2025（第 26 号）」

2-4. 調査研究事業

今年度は、計画年度として、助成事業の成果の整理や研究開発等の企画、資料・情報の収集および提供、調査・研究等の支援について事務局にて検討を行った。次年度以降、実施予定としている。

また、引き続き、ホームページ等で助成の総括およびシンポジウムの内容を公開した。

2-5. 表彰事業

令和 6 年度環境研究助成特定テーマの助成対象者の中から、当財団選考委員からなる「八雲賞審査委員会」で、厳選なる審査を行い、第 7 回「八雲賞」が決定した。

(1) 八雲賞受賞者

岡山大学異分野基礎科学研究所 森 裕樹 氏

受賞テーマ

「高効率有機薄膜太陽電池に向けた非縮環構造を基盤とする半導体ポリマーの開発」

(2) 予算額及び実施額

- ・ 予算額 50,000 円
- ・ 実施額 30,000 円

Ⅱ. 処 務 の 概 要

1. 役員他に関する事項

(令和8年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
理事長 理事	小谷 裕司	令和6年5月27日	E・Jホールディングス(株)代表取締役社長
	辻 英明	令和6年5月27日	岡山県立大学名誉教授
	沖 陽子	令和6年5月27日	岡山県立大学学長
	佐藤 豊信	令和6年5月27日	岡山大学名誉教授
	波田 善夫	令和6年5月27日	岡山理科大学名誉教授
	阿部 宏史	令和6年5月27日	環太平洋大学副学長
	西垣 誠	令和6年5月27日	岡山大学名誉教授
	伊丹 文雄	令和6年5月27日	元E・Jホールディングス(株)顧問
監事	西田 秀史	令和6年5月27日	弁護士
	松原 治郎	令和6年5月27日	税理士
	小谷 浩治	令和6年5月27日	(株)八雲取締役
評議員	本水 昌二	令和6年5月27日	岡山大学名誉教授
	杉尾 剛	令和6年5月27日	岡山大学名誉教授・杉尾化学合成独立栄養細菌研究所所長
	鳥越 良光	令和6年5月27日	岡山商科大学名誉教授
	星野 卓二	令和6年5月27日	岡山理科大学名誉教授
	神埼 浩	令和6年5月27日	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授
	谷本 俊夫	令和6年5月27日	元E・Jホールディングス(株)取締役
	藤井 勉	令和6年5月27日	元E・Jホールディングス(株)取締役
選考委員	稲井 寛	令和6年4月1日	岡山県立大学情報工学部教授
	田村 隆	令和6年4月1日	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授
	佐藤 丈晴	令和6年4月1日	岡山理科大学生物地球学部教授
	後藤丹十郎	令和6年4月1日	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授
	前田 守弘	令和7年4月1日	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授
	永井 泉治	令和6年4月1日	(株)エイト日本技術開発監査役

2. 職員に関する事項

(令和8年3月31日現在)

役 職	氏 名	採用年月日	給与	担当事務	備考
事務局	小谷 満俊	平成26年6月1日	無給	企画及び総務	兼任
〃	二木 里美	平成26年6月1日	無給	企画及び総務、経理及び財務	兼任

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
令和7年5月16日	現在数8名 書面決議	1. 令和6年度事業報告の件 2. 令和7年度助成事業承認の件 3. 令和7年度環境科学啓発事業承認の件 4. 評議員会開催の件	可決 可決 可決 可決
令和8年2月10日	現在数8名 書面決議	1. 評議員会開催の件	可決
令和8年3月3日	現在数8名 本人出席8名	1. 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）等の件 2. 令和8年度資金調達及び設備投資の見込みの件 3. 令和8年度助成事業募集要項（案）の件 4. 令和8年度環境科学啓発助成事業募集要項（案）の件 5. 選考委員の選任の件	可決 可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
令和7年6月10日	現在数7名 本人出席7名	1. 令和6年度事業報告の件 2. 令和7年度助成事業承認の件 3. 令和7年度環境科学啓発事業承認の件	可決 可決 可決
令和8年3月3日	現在数7名 本人出席7名	1. 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）等の件 2. 令和8年度資金調達及び設備投資の見込みの件 3. 令和8年度助成事業募集要項（案）の件 4. 令和8年度環境科学啓発助成事業募集（案）の件	可決 可決 可決 可決

4. 行政庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当事項はありません。

5. 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
令和7年4月1日	E・Jホールディングス株式会社	財団事務を月額50,000円にて委託する。

6. 寄付金に関する事項

寄附目的	種類	数	領収金額
運用財産として	個人	1	5,000円

7. 行政庁の指示に関する事項

該当事項はありません。

8. 税法上の収益事業に関する事項

該当事項はありません。

9. その他重要な事項

該当事項はありません。

Ⅲ. 計 算 書 類

貸 借 対 照 表

(令和8年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,361,477	2,893,386	1,468,091
流動資産合計	4,361,477	2,893,386	1,468,091
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	47,912,000	47,912,000	0
投資有価証券	221,000,000	221,000,000	0
基本財産合計	268,912,000	268,912,000	0
固定資産合計	268,912,000	268,912,000	0
資産合計	273,273,477	271,805,386	1,468,091
II 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	268,912,000	268,912,000	0
指定正味財産合計	268,912,000	268,912,000	0
(うち基本財産への充当額)	(268,912,000)	(268,912,000)	0
2. 一般正味財産	4,361,477	2,893,386	1,468,091
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	273,273,477	271,805,386	1,468,091

貸 借 対 照 表 内 訳 表
(令和8年3月31日現在)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金		4,361,477		4,361,477
流動資産合計		4,361,477		4,361,477
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	33,538,400	14,373,600		47,912,000
投資有価証券	94,000,000	127,000,000		221,000,000
基本財産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
固定資産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
資産合計	127,538,400	145,735,077		273,273,477
II 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	127,538,400	141,373,600		268,912,000
指定正味財産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
(うち基本財産への充当額)	(127,538,400)	(141,373,600)		△ 268,912,000
2. 一般正味財産		4,361,477		4,361,477
(うち基本財産への充当額)				
正味財産合計	127,538,400	145,735,077		273,273,477

正味財産増減計算書
(令和7年4月1日より令和8年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	22,327,594	19,859,501	2,468,093
基本財産受取利息	1,815,094	1,677,001	138,093
基本財産受取利息振替額	1,912,500	1,282,500	
基本財産受取配当	18,600,000	16,900,000	1,700,000
②受取寄付金	5,000	5,000	
受取寄付金	5,000	5,000	
④雑収益	18,505	2,732	15,773
受取利息	18,505	2,732	15,773
経営収益計	22,351,099	19,867,233	2,483,866
(2) 経常費用			
①事業費	19,310,704	18,505,684	805,020
研究支払助成金	18,261,279	16,836,084	1,425,195
会場費	452,125	1,036,000	△ 583,875
印刷製本費	597,300	633,600	△ 36,300
②管理費	1,572,304	1,519,540	52,764
事務委託料	600,000	600,000	
会議費	531,572	577,580	△ 46,008
旅費交通費	147,300	149,300	△ 2,000
印刷製本費	23,320	8,327	14,993
通信運搬費	72,000	63,970	8,030
消耗品費	40,097	22,196	17,901
租税公課		1,440	△ 1,440
雑費	158,015	96,727	61,288
経常費用計	20,883,008	20,025,224	857,784
当期経常増減額	1,468,091	△ 157,991	1,626,082
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	1,468,091	△ 157,991	1,626,082
一般正味財産期首残高	2,893,386	3,051,377	△ 157,991
一般正味財産期末残高	4,361,477	2,893,386	1,468,091
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	268,912,000	268,912,000	
指定正味財産期末残高	268,912,000	268,912,000	
III 正味財産期末残高	273,273,477	271,805,386	1,468,091

正味財産増減計算書内訳表
(令和7年4月1日より令和8年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	19,949,316	2,378,278		22,327,594
基本財産受取利息	10,566	1,804,528		1,815,094
基本財産受取利息振替額	1,338,750	573,750		1,912,500
基本財産受取配当	18,600,000			18,600,000
②受取寄付金	5,000			5,000
受取寄付金	5,000			5,000
④雑収益	18,505			18,505
受取利息	18,505			18,505
経常収益計	19,972,821	2,378,278		22,351,099
(2) 経常費用				
①事業費	19,310,704			19,310,704
研究費支払助成金	18,261,279			18,261,279
会場費	452,125			452,125
印刷製本費	597,300			597,300
②管理費	625,403	946,901		1,572,304
事務委託料	420,000	180,000		600,000
会議費		531,572		531,572
旅費交通費		147,300		147,300
印刷製本費	16,324	6,996		23,320
通信運搬費	50,400	21,600		72,000
消耗品費	28,068	12,029		40,097
租税公課				
雑費	110,611	47,404		158,015
経常費用計	19,936,107	946,901		20,883,008
当期経常増減額	36,714	1,431,377		1,468,091
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	36,714	1,431,377		1,468,091
一般正味財産期首残高	△ 8,653,834	11,547,220		2,893,386
一般正味財産期末残高	△ 8,617,120	12,978,597		4,361,477
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	1,338,750	573,750		1,912,500
一般正味財産への振替額	△ 1,338,750	△ 573,750		△ 1,912,500
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高	127,538,400	141,373,600		268,912,000
指定正味財産期末残高	127,538,400	141,373,600		268,912,000
III 正味財産期末残高	118,921,280	154,352,197		273,273,477

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 ・ ・ ・ 償却原価法

その他の有価証券

時価のないもの ・ ・ ・ 移動平均法による原価法

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	47,912,000	0	0	47,912,000
投資有価証券	90,000,000	0	0	90,000,000
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
投資有価証券	14,000,000	0	0	14,000,000
投資有価証券	17,000,000	0	0	17,000,000
合 計	268,912,000	0	0	268,912,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	47,912,000	(47,912,000)	0	0
投資有価証券	90,000,000	(90,000,000)	0	0
投資有価証券	100,000,000	(100,000,000)	0	0
投資有価証券	14,000,000	(14,000,000)	0	0
投資有価証券	17,000,000	(17,000,000)	0	0
合 計	268,912,000	(268,912,000)	0	0

6. 担保に供している資産

該当事項はありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項はありません。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当事項はありません。

9. 保証債務（保証債務を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当事項はありません。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりであります。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
大和証券株式会社発行日経リンク債	100,000,000	95,440,000	△ 4,560,000
中銀証券日米SP2指数参照固定	90,000,000	81,180,000	△ 8,820,000
合計	190,000,000	176,620,000	△ 13,380,000

(R8. 3. 31)

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当事項はありません。

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当事項はありません。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項はありません。

14. 重要な後発事象

該当事項はありません。

15. その他

該当事項はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳に記載のとおりであります

2. 引当金の明細

該当事項はありません。

財 産 目 録
(令和8年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金 額
(流動資産)	現金		運用資金として使用している	255,991
	預金	普通預金	運用資金として使用している	
		三井住友銀行岡山支店		3,147,827
		中国銀行奉還町支店		957,659
流動資産合計				4,361,477
(固定資産)				
基本財産	定期預金	三井住友銀行岡山支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業（70％）、管理業務（30％）で使用している共用資産である。	47,912,000
	投資有価証券	中銀証券株式会社	公益目的保有財産であり、公益目的事業（70％）、管理業務（30％）で使用している共用資産である。	90,000,000
		(株)八雲株式優先株式280株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	14,000,000
		(株)八雲株式優先株式340株	運用益を公益目的事業の財源として使用している。	17,000,000
		大和証券株式会社発行日経リンク債	公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産として、運用益を管理費の財源に充てている。	100,000,000
固定資産合計				268,912,000
資産合計				273,273,477
正味財産				273,273,477

監 査 報 告 書

令和8年4月13日

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

代表理事 小 谷 裕 司 殿

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

監 事 西田 秀史

松原 治郎

小谷 浩治

令和7年4月1日より令和8年3月31日までの令和7年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上